

ふるさとの木“クロマツ”を植樹しました

ここは愛知県大府市にあります“あいち健康の森公園”です。この公園の一角にあります“ふるさとの森”に、去る2月23日(水、祝日)、島根県の県木であります「クロマツ」の苗木を県人会役員により植樹しましたのでその報告をいたします。

この“あいち健康の森”は平成9年に開園し、大府市民もとより近隣の地域の皆さんの健康増進や憩いの場となっており、“JA あぐりタウンげんきの郷”が隣接しているところです。“ふるさとの森”は公園が開園した当時に、47都道府県を代表するふるさとの木が愛知県知事らによって植樹され、島根のエリアにはクロマツが植えられました。そして文字通りふるさとの森として来園者に親しまれてきましたが、20数年の年月を重ねる間に、樹木も大きく成長し樹形も乱れてきましたので、昨年10月に全国県人会東海地区連絡協議会の呼びかけで各道県人会のボランティアによる剪定などの整備作業が行われました。



ふるさとの森のかんばん

島根県人会からは事務局の湯浅が参加しましたが、その際島根のクロマツは残念ながら伐採されていたことが分かりました。おそらく病気で枯れてしまったのだと思います。これでは寂しいので県人会でなんとか再生しようという意向を島根県なごや情報センターと大阪事務所を通じて島根県に働きかけていただき、このほど島根県立緑化センターからクロマツの3年ものの苗6本を譲り受けることができました。このようにして冒頭の植樹が実現いたしました。ちなみに、このクロマツは島根県が松枯れ対策として独自に品種改良した病気に非常に強い品種で、松枯れ抵抗性松「くにびき松」という名称で親しまれています。

植樹を行った当日は晴れてはいるものの冷たい北風が吹く中、桂会長はじめとする役員6名、なごや情報センターの中道所長の計7名が参加し苗木を1本、1本丁寧に植え付けていきました。慣れない作業で苦労はしましたが、その甲斐あってほぼ1時間で6本の苗木を無事植え付けることができました。参加者のほとんどの方がこの公園は初めてでしたが、「これで愛着が湧くね」、「元気に育ってよ」と口々に語りかけ、これからも大切に育て成長を見守っていこうと約束しました。



懸命に植樹する役員の方々の皆さん

皆様もあいち健康の森公園を訪れた際には是非、「ふるさとの森」にも是非足を運んで頂き、島根のクロマツや他県のふるさとの木をご覧になりながらそれぞれのふるさとに思いをよせて頂ければ幸いに存じます。また、このふるさとの森を多くの方に知って頂くためにも、健康増進や交流を兼ねた行事も企画したいと思いますのでその際はご参加をよろしくお願いいたします。

末尾になりましたが 植樹にご尽力いただきました島根県立緑化センター、並びに島根県大阪事務所、なごや情報センターの皆様には厚くお礼を申し上げます。



クロマツを囲んで記念撮影

尚、この模様は2月24日(木)付の読売新聞朝刊に掲載されましたので紹介いたします。
(事務局 湯浅 勉)

